

## 3月23日(水)、『次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中生が考える 明日のわがまち～』を開催

次世代を担う中学生が、「地域連携プログラム」を通じてこれまで取り組んできた成果を発表します！

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、平成24年4月に締結した「次世代郊外まちづくり」（※1）の推進に関する協定に基づき、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）をモデル地区として、産・学・官・民の連携・協働によるまちづくりに取り組んでいます。

モデル地区内の横浜市立美しが丘中学校とは、平成25年から次世代のまちづくりを担う人材育成を目的に、さまざまな取組を推進してきました。

平成27年には、次世代郊外まちづくりが取り組んできた「住民創発プロジェクト」で培った経験を生かし、地域の多様なリソースが連携・協力することでさらに相互発展していくまちづくりの取組「地域連携プログラム」を開始。次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクトの1グループ「AOBA+ART」と一緒に、中学生による、たまプラーザにお住まいの方などへのインタビューの実施や、豊富なICT知識を持つ地域の住民が、インターネット・パソコンの活用法を中学生に教えるなど、さまざまな連携を進めてきました。

今回、地域連携プログラムを通じ、これまで美しが丘中学校と一緒に取り組んできた活動の集大成として、3月23日（水）に、生徒達による保護者や地域の方々に向けた発表会を行います。

当日は、美しが丘中学校の2年生が考える「明日のわがまち」をe-Book（※2）形式で発表します。

### ■開催概要

- <タイトル> 次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中生が考える 明日のわがまち～  
<日時> 平成28年3月23日（水） 11:00～13:00（10:45受付開始）  
<会場> たまプラーザ テラス プラーザホール by iTSCOM  
（所在地：横浜市青葉区美しが丘1-1-2 東急田園都市線たまプラーザ駅直結）  
<内容> ①プレゼンテーション  
2年生各クラスの代表3グループが、WEB上に公開したe-Bookを投影して発表  
②ポスターセッション  
2年生全24グループが、展示パネルとタブレットを使用して発表  
※入場無料・事前申込は不要です

今回の取組を通じて、まちの記憶を継承し、生徒達がまちの未来をつくっていくためのきっかけとすることで、次世代のまちづくりを担う人材育成を目指します。また併せて、次世代郊外まちづくりが「リーディング・プロジェクト2015」で掲げる地域のエリアマネジメントに向けた仕組みづくりや公的資源の新たな活用の仕組みづくりを推進していきます。

## ※1「次世代郊外まちづくり」の概要

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置付けられています。

<次世代郊外まちづくりURL> <http://jisedaikogai.jp/>

## ※e-Bookとは

e-Book（電子書籍）とは、パソコンやPDA、携帯電話、携帯読書端末などのディスプレイ上で閲覧可能なコンテンツの総称です。



以 上

お問い合わせ先		
建築局住宅部住宅再生課長	大友 直樹	Tel 045-671-4543
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課長	岩岡 敏文	Tel 045-671-2477



報道関係者 各位

平成 28 年 3 月 14 日  
横 浜 市  
東京急行電鉄株式会社

## 3月23日(水)、『次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中生が考える 明日のわがまち～』を開催

次世代を担う中学生が、「地域連携プログラム」を通じてこれまで取り組んできた成果を発表します！

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、平成24年4月に締結した「次世代郊外まちづくり」（※1）の推進に関する協定に基づき、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）をモデル地区として、産・学・官・民の連携・協働によるまちづくりに取り組んでいます。

モデル地区内の横浜市立美しが丘中学校とは、平成25年から次世代のまちづくりを担う人材育成を目的に、さまざまな取組み【別紙1】を推進してきました。

平成27年には、次世代郊外まちづくりが取り組んできた「住民創発プロジェクト」で培った経験を生かし、地域の多様なリソースが連携・協力することでさらに相互発展していくまちづくりの取組み「地域連携プログラム」を開始。次世代郊外まちづくり住民創発プロジェクトの1グループ「AOBA+ART」と一緒に、中学生による、たまプラーザにお住まいの方などへのインタビューの実施や、豊富なICT知識を持つ地域の住民が、インターネット・パソコンの活用法を中学生に教えるなど、さまざまな連携を進めてきました。

今回、地域連携プログラムを通じ、これまで美しが丘中学校と一緒に取り組んできた活動の集大成として、3月23日（水）に、生徒達による保護者や地域の方々に向けた発表会を行います。

当日は、美しが丘中学校の2年生が考える「明日のわがまち」をe-Book（※2）形式で発表します。

### ■開催概要

- <タイトル> 次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中生が考える 明日のわがまち～  
<日 時> 平成28年3月23日(水) 11:00～13:00 (10:45受付開始)  
<会 場> たまプラーザ テラス プラーザホール by iTSCOM  
(所在地: 横浜市青葉区美しが丘1-1-2 東急田園都市線たまプラーザ駅直結)  
<内 容> ①プレゼンテーション  
2年生各クラスの代表3グループが、WEB上に公開したe-Bookを投影して発表  
②ポスターセッション  
2年生全24グループが、展示パネルとタブレットを使用して発表  
※入場無料・事前申込は不要です

今回の取組みを通じて、まちの記憶を継承し、生徒達がまちの未来をつくっていくためのきっかけとすることで、次世代のまちづくりを担う人材育成を目指します。また併せて、次世代郊外まちづくりが「リーディング・プロジェクト2015」【別紙2】で掲げる地域のエリアマネジメントに向けた仕組みづくりや公的資源の新たな活用の仕組みづくりを推進していきます。

## ※1「次世代郊外まちづくり」の概要

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」の主要な取組みである「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置付けられています。

<次世代郊外まちづくりURL> <http://jisedaikogai.jp/>

## ※e-Bookとは

e-Book（電子書籍）とは、パソコンやPDA、携帯電話、携帯読書端末などのディスプレイ上で閲覧可能なコンテンツの総称です。



以 上

お問い合わせ先		
横浜市 建築局住宅部住宅再生課長	大友 直樹	Tel 045-671-4543
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課長	岩岡 敏文	Tel 045-671-2477
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部広報課 報道担当		Tel 03-3477-6086

## 【別紙 1】 美しが丘中学校と連携して行ってきた、これまでの取組み

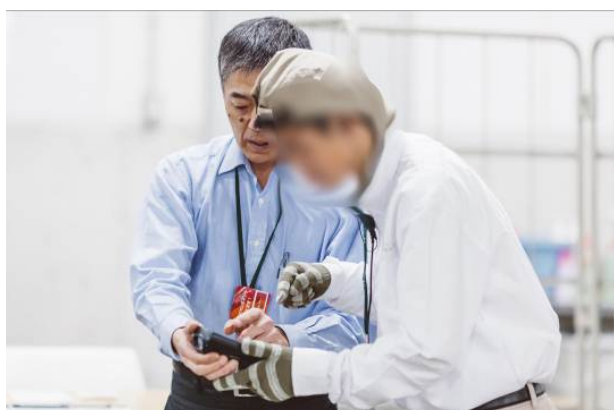
平成25年9月	横浜市・東急電鉄による授業「次世代郊外まちづくりについて」
11月	東京理科大学・伊藤香織准教授による授業「シビックプライドについて」
平成26年1月	講師によるプレゼンテーション講座 (1分間プレゼンテーション、伝わる模造紙の書き方)
3月	生徒による発表会「次世代郊外まちづくり シビックプライド ～美中プラン～」 (写真①)
6月～	タブレットを活用したICT授業
7月～	「街のはなし」インタビューの実施
平成27年1月	「職業インタビュー」授業
7月	「街のはなし」インタビュー実施(写真②)
7月～	「明日のわがまち新聞」作成
平成28年1月	「職場体験」授業(写真③)
1月	「プラたま ～遊歩道アイデアウォーク～」との連携
2月～	「e-Book」作成授業(写真④)



①前回発表会の様子  
(平成26年3月)



②AOBA+ARTと連携した「街のはなし」  
インタビューの様子(平成27年7月)



③「職場体験」授業の様子(平成28年1月)



④地域にお住まいの方にご協力いただいた  
「e-Book」作成授業の様子(平成28年2月)

## 【別紙2】 次世代郊外まちづくり リーディング・プロジェクト2015

No.	プロジェクト名	内 容
1	地域のエリアマネジメントに向けた 仕組みづくり	地域に関わる様々な組織・グループがともにまちづくりに取り組めるよう、様々な主体による活動のネットワーク化を進めます。
2	地域のエネルギーマネジメントに向けた 仕組みづくり	新エネルギーや水素などを活用した自立分散型エネルギー拠点の検討などを通じて、既成市街地でのスマートコミュニティづくりを推進します。
3	まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり	子育てしやすいまちを目指し、保育・子育てに関わる様々な主体が連携・協働していくためのネットワーク構築を進めます。
4	地域包括ケアシステム「あおばモデル」 パイロット・プロジェクト	安心して住み続けられるまちを支える医療・介護の連携促進と情報インフラのパイロットモデル構築を進めます。
5	住宅団地・社宅等の再生と 商店街と連携したまちの賑わいづくり —「コミュニティ・リビング」 モデル・プロジェクトの実現—	コミュニティ・リビングの実現を目指し、モデル地区内を中心に、企業社宅の再開発について民間事業者との連携・協働による取組みを進めるとともに、田園都市線沿線の住宅団地・社宅などの再生の仕組みや、空き家の流通促進や活用、商店街と連携したまちの賑わいづくりについても検討を進めます。
6	公的資源の新たな活用の仕組みづくり — 健康・移動・教育・防災等の推進 —	公園・遊歩道を活用した「健康づくり歩行者ネットワーク」の検討や、学校との連携など、公的資源をこれまで以上に有効に活用するための新たな仕組みづくりを進めます。

※「地域連携プログラム」は、リーディング・プロジェクト2015に掲げた「1：地域のエリアマネジメントに向けた仕組みづくり」および「6：公的資源の新たな活用の仕組みづくり」の取組みです。

以 上